

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和6年2月16日(金)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO35

校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

うれしかったこと..



上の左写真は、6年1組石橋学級の体育科「跳び箱運動」の学習の様子です。石橋は、昨年度まで本校の研究主任をしたり、福岡地区小学校体育科の代表授業をしたり、本年度は筑紫地区の論文で優秀賞（本年度1名のみ受賞の最高賞です）を受賞したりと非常に体育科を中心とし指導力が高い職員です。その石橋が自ら、少しでも若手の参考になればと指導案も用意し、2月5日月曜日に授業を公開してくれました。自分が教諭の時に、このような事を率先して行うことはとてもできませんでした。

モデルVTRを提示し、動きのポイントをみんなで共有し、めあてをつかませる。初めから終わりまでの動きを、ペアやトリオで、タブレットで撮影したり、友だちに見てもらったりして、モデルVTRと比べて課題を明らかにする。課題を克服するための練習の場で繰り返し練習する。そして、できそうだなと思ったらまたやってみる。最後にミニ記録会を行い、自分の高まりやペアやトリオでの学習のよさを振り返る。体育や他の教科でも使える学習展開を見せてくれました。

右の写真は、ICTを駆使し、この跳び箱の単元全ての板書計画やポイント、課題別の練習方法等をまとめてくれているものです。これを学年で役割分担をし作成しておけば、いつでも誰でも使うことができ、大きな働き方改革や授業改善につながります。

さらに石橋は、「跳び箱は、切り返し系（開脚跳びや閉脚跳び）の技より回転系（台上前転）の技を先にやるんです。それは、切り返し系を先にやったら勢いに任せて跳んでしまいます。回転系を先にやればゆっくり大きな動作でやります。それが切り返し系の美しくダイナミックな技につながるんです。」と熱く語ってくれました。

私は、このような職員が天小にいることを誇らしく思いました。校内での人材育成に大きく貢献した姿でした。